

第69回レオロジー討論会のご案内

※参加募集詳細は決まり次第、HPでご案内いたします。

第69回レオロジー討論会は、日本バイオレオロジー学会と共同主催で、北海道大学の折原宏教授を実行委員長として2021年10月20日（水）～22日（金）の3日間にわたり開催されます。当初は札幌市内のオンライン開催を予定しておりましたが、新型コロナ感染対策のためオンライン開催に変更されました。本討論会では、レオロジー一般および下記テーマに関する講演を募集いたします。討論会に適した内容であれば既発表の研究を含んでも構いませんので奮ってお申込みください。

主催：日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会

協賛：日本材料学会、プラスチック成形加工学会、高分子学会、日本化学会、日本物理学会、繊維学会、応用物理学会、化学会、強化プラスチック協会、日本ゴム協会、日本接着学会、日本セラミックス協会、日本木材学会、セルロース学会、日本機械学会、日本雪氷学会、日本混相流学会、日本流体力学会、可視化情報学会、日本食品科学工学会、日本家政学会、日本調理科学会、日本食品工学会、日本繊維機械学会

後援：日本農芸化学会

期日：2021年10月21日（木）、22日（金）※2日間開催に変更しました。

会場：オンライン

講演申込：学会ホームページ「討論会講演申込フォーム（Google版）」よりお申込みください。フォームからのお申込みができない場合は、①講演題目、②オーガナイズドセッションテーマ名、③発表の種類（口頭か※ショートオーラルプレゼンテーション）、④研究者氏名（連名の場合講演者に○印、連名者全員の所属も記入）、⑤所属先名または勤務先名、⑥TEL、⑦E-mail、⑧100字程度の概要、以上①～⑧を1題ごとに明記し、office@srj.or.jp宛にお申込み下さい。

※ショートオーラルプレゼンテーション（SOP）は従来のポスター発表に代わるオンライン用の発表形式で、第48年会でも行われています。Zoomのブレイクアウトルームを使用し、各発表者に割り当てられたルームにて行います。スライドを使った発表後（8分程度）、ルームの参加者と討論（12分程度）を行います。発表のオブリゲーション時間は90分とし、その間に発表者はこの発表と討論を4回程度繰り返します。

講演発表時間：口頭発表については、Zoomを用いて1件あたり講演時間は15～20分、討論5～10分を予定、SOPについては、上記のとおり。

【各種締切日】※講演申込は6月27日（日）で締め切りました。

要旨原稿提出締切：8月16日（月）17時※要旨原稿提出フォームは、7/27（火）から利用可能です。

参加申込締切：9月24日（金）17時※参加申込フォームは、7/29（木）以降に受付開始します。

参加費振込締切：9月30日（木）15時※参加募集の詳細は、決定次第HPに掲載します。

問合せ先：一般社団法人日本レオロジー学会

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階
E-mail: office@srj.or.jp TEL: 075-315-8687

【特別企画とオーガナイザー】（敬称略）

バイオレオロジー・リサーチ・フォーラム：丸山 徹

【オーガナイズドセッションとオーガナイザー】（敬称略）

1. 高分子液体のレオロジー：高野敦志、松宮由実
2. 高分子固体のレオロジー：新田晃平、山口政之
3. 非ニュートン流体力学：日出間るり、高橋 勉、山本剛宏、岩田修一
4. 表面界面のレオロジー：梶谷忠志、川口大輔
5. ER・MR流体及び液晶のレオロジー：田中克史、藤井修治
6. ゲル・エラストマーのレオロジー：浦山健治、河原成元、酒井崇匡
7. 生体由来物質・食物のレオロジー：三浦 靖、吉村美紀
8. バイオレオロジー（医学関連のレオロジー）：中村匡徳、古澤和也、丸山 徹
9. ミクロ・ナノおよび分子レオロジー：酒井啓司、増渕雄一
10. 分散系・セラミックス関連のレオロジー：菰田悦之、四方俊幸、巽 大輔
11. 機能性材料 成形加工のレオロジー：岡本正巳、杉本昌隆
12. サイコレオロジー（化粧品関連のレオロジー）：田村英子、那須昭夫、山縣義文
13. English Session : Sathish K. Sukumaran, 谷口貴志
14. 特別セッション：特集号記事のジョイントセッション：畠山多加志、徳満勝久